

担い手農家・農業法人・集落営農組織むけ情報誌 お時間がある時にご覧いただきますようお願い申し上げます。

JA北びわこ

営農振興課

TEL 78-2415

令和4年度 TAC&営農指導員紹介

新メンバーが加わりました!今年度もよろしくお願いいたします。







Vol. 1

【写真①】〇浅井担当TAC 【写真②】〇虎姫・びわ担当TAC 【写真③】〇湖北担当TAC

【写真④】〇高月·伊香担当TAC

【写真⑤】〇園芸特産担当TAC

[統括支店配属]

〇浅井·虎姫営農指導員

〇びわ営農指導員

〇湖北営農指導員

〇高月営農指導員

〇伊香営農指導員

植谷 泰行 080-8507-1179

田中 渉 080-8507-1180

丸岡 貴志 080-8529-9184

佐野 大地 080-8507-1178

児玉 瑞輝 080-8328-6780

今井 正彦 090-5960-3266

中澤 寛郎 080-2510-6029

石川 博之 080-9592-8096

山本 克行 080-9592-8095

布施 直亮 080-2540-8537

燃料油配送(灯油・軽油配送)をご利用のみなさまへ

令和4年4月1日より「燃料油配送のご注文先」が変わりました!

地域	注文先	電話番号
浅井·虎姫	浅井支店営農経済係	74-0002
びわ	びわ支店営農経済係	72-4482
湖北	営農経済センター 湖北担当	78-0012
高月	高月支店営農経済係	85-3600
木之本·余呉·西浅井	木之本支店営農経済係	82-3004

お知らせ

竹生給油所閉店に伴い、「JASS-PORT 高月」または「北びわこ燃料油配送センター」をご利用いただく方の免税軽油申請については、4月1日以降も引き続き上記の各支店営農経済係にて受付けさせていただきます。

大麦生育状況

平年より1週間ほど生育が遅れています!

12月中旬までは平年並の生育でしたが、12月下旬から3月上旬にかけて降雪により気温が低く推移したため、出穂期は平年より遅れることが見込まれます。適期防除と必要に応じた実肥を施用しましょう。

今後の管理は①赤かび病防除のタイミング、②実肥の施用!

①赤かび病防除【防除時期の目安】※必ず2回防除を実施して下さい!

15777.0±40	11/1+HD 6 77+D	1回目の防除	2回目の防除
播種時期	出穂期の予想	(開花始め)	(1回目の1週間後)
10月中~下旬	4月19日前後	4月21~26日	4月28~5月3日
11月上旬~	4月24日前後	4月26~5月1日	5月3~8日
			-

(3/31付 県 農産普及課麦作情報より)

	防除時期	使用薬剤名	使用量	使用時期 (収穫前)
粉剤	1回目(開花始め)	トップジンM粉剤DL	4 kg/10a	14日前まで
防除	2回目(開花始めの7日後)	ワークアップ粉剤DL	3 kg/10a	7日前まで
液剤	1回目(開花始め)	トップジンM水和剤	1000倍~1500倍で 60~150ℓ/10a	30日前まで
防除	2回目 (開花始めの7日後)	ワークアップフロアブル	2000倍で 60~150ℓ/10a	7日前まで
ヘリ防除	1回目(開花始め)	トップジンMゾル	8倍で 0.8 <i>ℓ</i> /10a	21日前まで
	2回目(開花始めの7日後)	ワークアップフロアブル	10~16倍で 0.8 <i>ℓ</i> / 10a	7日前まで

※液剤防除の場合は、薬剤の使用時期(収穫前日数)に注意してください。

②実肥の実施

より良い品質の大麦を作っていただくために実肥の施用をおススメします!

※早すぎる実肥は遅れ穂の発生を助長しますので、下の目安を参考に実肥を施用しましょう! また、生育旺盛な圃場であれば、止葉展開期(出穂初期)からの早期実肥でも問題ありません!

施用時期

出穂10日後(4月下旬頃)

施用量

分施体系の場合:窒素成分で4kg/10a 一発肥料の場合:窒素成分で2kg/10a

<u>きた、水田リノベーション事業で麦に取組きれる方で⑥効率的・効果的な施</u>肥を取組メニューに挙げられている方は<u>追肥</u>をお忘れなく!





この花粉袋 が見え始め た時が、 1回目の赤 かび防除適 期です!



水稲育苗管理

水稲育苗ビニールハウスの水管理と温度管理

		緑化期間(2~3日)	硬化期間(4~16日程)
	昼間	22∼25°C	18~20°C
	夜間	15~18℃	12~15℃
	水管理	午前中に1回灌水	午前1回、午後1回

※苗が小さい時は吸水も少なく床土も乾きにくいので灌水のし過ぎに注意しましょう。 ※ハウス内の気温は、35℃~10℃の範囲となるようハウスを開閉し調節しましょう。

トンネル育苗の管理

○水田苗代のトンネル育苗は出芽揃いから本葉2枚頃までは、床内温度を昼間は30℃ 以上、夜間は10℃以下にならないようにし、35℃以上になる時は裾をあけて温度調節し ましょう。

育苗中に発生する病害

苗の病害簡易検索表 はい いいえ 苗に立枯れまたは腐敗症状が見られ、菌が表面に発生している 葉に褐色の斑 点が見られ、 細く緑が薄く 地際が暗褐色 菌が見えない(顕微鏡で菌が見える) 菌が見える になっている 長 葉鞘と葉身に暗褐色 箱の一部に 菌の色 すじ状の斑点がある 円形等の萎 **凋または腐敗** 白色~ 葉身に灰緑色 灰緑色 白色 が見られる 葉身が容易に 淡紅色 の病斑 引き抜ける 苗立枯病 苗立枯病 ごま葉枯病 ばか苗 苗立枯 褐条病 細菌病 いもち病 苗立枯病 苗立枯病 ピシウム菌 もみ枯細菌病 リゾープス菌 フザリウム菌

〇ピシウムによる苗立枯病は、他の菌とは異なり、地際部にカビが発生しているのが見えません。 低温や日照不足で苗が弱った状態で、急に温度が上がった場合に発生しやすく、育苗後半に坪状に赤茶 けて急激にしおれます。

○苗立枯細菌病は、葉身基部の白~黄白化が最大の特徴です。育苗箱内で伝染するため、坪状に発生 します。根の生育が著しく抑制され、生育不良、マット形成不良となります。最終的には針状となり立ち枯 れます。



白色または赤色のカビが発 生し褐変枯死する。

低温管理や酸度が低い育苗 土で多発する。



地際部にカビは見られず、急 激に枯死して、「坪枯れ」状態 になります。緑化以降の低 温・土壌の過湿で多発する。



苗全体が水不足のような症状 となり、黄白化し、のちに針状 になり枯死する。高温・過湿で 発生しやすい。

令和3年産「収入減少影響緩和対策」交付申請

標記の交付申請書が近畿農政局から3月30日付に農家へ発送されていますので生産実績数量を記入し、JA北びわこ営農経済センター(湖北地域)または浅井支店(浅井・虎姫地域)・びわ支店・高月支店・木之本支店の営農経済係または長浜市産業観光部農業振興課、北部農林振興事務所へ提出をお願いします。また、直接販売分については下記の必要書類の添付が必要になります。

提出期限 令和4年4月19日(火曜日)までに各支店営農経済係またはTAC担当必着。

〇交付対象数量の範囲(フロー図)

米穀の販売数量

(令和4年3月31日までに販売したもの)

↲

種子用・加工用米・新規需要米(飼料用米、米雇用米、新市場開拓米)は、支援の対象外。 備蓄米は令和2年産から対象になりました。

農産物検査

3等以上

対象は、水稲うるち玄米、水稲もち玄米及び、醸造用玄米です。

_____ 出荷先

J A·集荷業者

米穀店、事業者、消費者等に直接販売



すべて対象。

出荷先業者が発行する数量 証明書を添付してください 直接販売については、以下の①、②、③(または④)の書類で確認できたものが交付対象数量となります。



米穀店、事業者、消費者等に直接販売された場合の確認書類

- ① 直接販売した米穀の数量報告書(玄米用)または(精米用)
- ② 米穀の直接販売分の証明書類の添付省略に関する申出書
 - ※②の申出により、以下の③④のア、イ、ウの証明書類の提出が省略できますが、提出を求める場合がありますので、5年間は大切に保存してください。



- ③米穀検査結果通知書等の写し
- ④販売実績が確認できる書類
 - ア 3月31日までに、業者等への販売で相手先と文書等で販売契約を締結した場合は、次の①と②
 - ①販売契約書の写し 契約日、販売の相手先、銘柄ごとの販売対象数量、販売価格、

または販売価格の設定方法、引渡時期が記載されたもの

- ②販売伝票等の写し 納品書または販売伝票(領収書等)
- イ3月31日までに、一般消費者等へ販売した場合は、次の③及び④
 - ③購入申込書の写し 販売日、販売の相手先、銘柄ごとの販売対象数量、販売価格が 記載されたもの
 - ④販売伝票等の写し 納品書または販売伝票(領収書等)
- ※直売所等での販売について、販売の相手が不明な場合でも、直売所等の証明等で確認できれば 生産実績数量に含めることができます。
- ウ 3月31日までに、販売の相手先からの注文(ネット、FAX等)に応じて販売した場合は、次の⑤と⑥
 - ⑤購入申込書または発注フォームを印字したもの等

販売日、販売の相手先、銘柄ごとの販売対象数量、販売価格が

記載されたもの

⑥販売伝票等の写し 納品書または販売伝票(領収書、代金請求書+送り状など)

農業経営管理支援事業(記帳代行)について

農家組合員の皆様の悩みの一つになっている「会計記帳」の解消に向けた取組としまして「記帳代行サービス」を現在行っております。

記帳代行サービスとは?

農家組合員の皆様に代わって、農業にかかる日々の会計記帳をJAグループが代行することで、厄介な経理事務負担が大幅に軽減されるサービスです。

記帳代行サービスで出来ること

- ①煩わしい農業にかかる日々の会計記帳を JAグループが代行します!
- ②比較分析・期間分析で経営の 見える化が可能!



経営分析・経営診断で現状を確認する事で、その人に 合った取組・事業の提案を受けることができます!

利用者は四半期に一回面談するだけ!

日々の<u>農業に関する取引</u>について、JAと支援 機関にて仕分けを行い、年に数回面談をしてい ただく事で青色申告決算書を作成できます。

ご利用者の皆さまからは、「申告時の手続きが楽になった」と好評です!

令和4年度利用者を募集しています!

詳しくはTAC・営農指導員までお気軽にご連絡下さい。

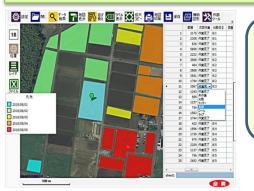
営農管理システム「Z-GIS」について

「Z-GIS」利用料金

100圃場ごとに月額200円課金(税抜)、登録2,000圃場以上は月額定額4,000円(税抜)

「ZーGIS」の特徴

- ②データの視覚化・・・記録した情報は地図上にわかりやすく「見える化」できます。
- ③共有ができる・・・データをクラウド上に保管することで複数名で共有できます。
- ④高解像度地図・・・高解像度の航空写真を使用し、見やすい地図を提供しています。



利用者の評価

- OExcelを利用するため、既存のデータが利用しやすい。
- 〇入力項目が固定されていないので、自由度が高い。
- ○面積の自動計算機能が良い。水害の被災面積の計算に利用した。
- ○他社システムのようなマスタ整備が不要で、すぐに利用できる。
- ○大きな地図をA4判に分割印刷ができるなど、印刷機能が優れている。

詳しくはTAC・営農指導員までお気軽にご連絡下さい。